

わたしたちは、豊かな緑と水を守り、潤いのある住みよい柏をつくるために、この憲章を定めます。

1. たがいに話し合っ、心のかよう明るい柏をつくりましょう。
1. 老人を敬い子どもを愛する、あたたかい柏をつくりましょう。
1. 環境をととのえ、安全できれいなまち・柏をつくりましょう。
1. 教育を重んじ、健康で、文化の薫り高い柏をつくりましょう。
1. 国際理解を深め、平和な柏をつくりましょう。

柏市のうごき (11月30日現在) 人口 / 240,772人 男122,308人 女118,464人 世帯数 / 69,797世帯 (前月より+29世帯)

発行 / 柏市役所(〒277 千葉県柏市柏5-10-1 ☎0471-67-1111) 編集 / 企画調整部広報課 発行日 / 毎月1日・11日・21日



青空の下、汗びしょりになり、1,635人の参加者全員が新春を走り抜きました

すべくいいい気分です

走りぞめ はつらつ 1,635人

'81元旦マラソン大会



ヨーイ・ドン 鈴木市長の号砲を合図にスタート

雲一つない晴天に恵まれた新春の二月一日、約千六百人の参加者を集め、恒例の「柏市民元旦マラソン大会」が行われました。

この元旦マラソン大会は、柏市教育委員会、柏市体育協会が主催、市民スポーツの振興と市民の体力づくりの一環として毎年行っているもので、今年でちょうど二十回目。参加者も年々増え続け、今年は昨年より約五百人多い千六百三十五人。

午前八時二十分の受け付け開始時刻には、会場周辺の体育館や市民文化会館前広場は、トレーニング参加者でいっぱいになり、走り、競技開始前から「よし！走るぞ」の熱気がムンムンと伝わってきました。

午前九時、競技に先立ち、鈴木市長、平久市議会議長、大会関係者などのあいさつが行われると同時に、柏市消防音楽隊の「若い力」の吹奏による大会旗の掲揚が、そして土中三年の鈴木君の力強い選手宣誓が、このマラソン大会を一層盛り上げました。

コースは市民体育館をスタート、ゴールは、手賀沼や大堀川を

見ながら走れる一周二千六百。種目も小学六年生以下の子供と親が一緒に走るファミリーの部、それに中学女子や高校生以上の一般女子、高校男子や一般男子、四〇歳以上の男子壮年の部など、年齢や性別に合わせた九種目によって行われました。

午前九時半、まず先発をきったのはファミリーの部。市長が打ち鳴らした号砲を合図に道路いっぱいになり元気な声を出しました。お父さん、お母さんと手をつないで走る子、子供の顔を歯を食いしばりながら追いかけるお父さん、マイペースで歩調を合わせながら走る親子連れ、実にほほえましいスタートでした。その後、次々と各種目のスタートがきられ、会場周辺は応援に駆けつけた、たささんの家族の温かい声援に包まれました。



全力でがんばりました 種目別6位までの入賞者紹介



- 種目別の参加者は、ファミリーの部百九十九人、中学男子一年の部五百十三人、中学女子の部二百五十九人、中学男子二、三年の部三百四十一人、高校男子の部五十一人、一般男子の部八十八人、四〇歳以上の壮年男子の部A六十二人、同B六十四人、高校生以上の一般女子の部六十六人の合わせて千六百三十五人で、みんな全力を出して走り抜きました。
- おぼあちゃんに留守番を頼んで奥さんと小学五年の娘さん、それに同三年と二年の二人の息子さんの親子五人でファミリーの部に参加した逆井の須賀さん(四〇歳)は、「この大会を目指して以前から練習していました。十二月三十一日は、下見を兼ねてこのマラソンコースを走ったんですよ。でも、本番の結果は、一番下の子が百三位で一番いい成績でした。来年は家族をろって百位以内に入れるよう練習します。お正月はこれからですが、でも、すべくいい気分です」と話してくれました。また、壮年の部、五千三百に登場した十倉の鹿野さん(四二歳)は、「今回で四回目の参加です。記録は二千一分三十八秒で十三位でした。普段はそんなに疲れないで走れるんですが、早く走るのがいるとつい無理をしまつて...。また来年がんばります」と流れる汗をふきながら話してくれました。
- なお、今年は、この二十回大会を記念し、第二回大会から連続出場している増尾の金子進さん(三三歳)と第九回大会からやはり連続出場している十倉の相原英夫さん(四七歳)の二人が、永年出場をたたえられ表彰されました。
- ①鈴木実(土中) 8分25秒 ②小林誠一(同) ③橋武志(同) ④山口順久(同) ⑤根本洋栄(田中中) ⑥片平登志治(南中中) ⑦中学女子の部(二千六百) ⑧奥原素子(土中) 9分44秒 ⑨吉木幸(柏二中) ⑩神宮直子(土中) ⑪秋葉かおる(柏三中) ⑫松本節子(柏二中) ⑬青木知美(同) ⑭中学男子二、三年の部(二千六百) ⑮目下部伸一(土中) 8分8秒 ⑯鈴木広一(同) ⑰久富浩一(同) ⑱中曾根仁史(同) ⑲立石聡(田中中) ⑳橋謙一(土中) ㉑高校男子の部(八千) ㉒前沢秋生(東葛飾高) 26分8秒 ㉓広瀬洋治(東海大附属浦安高) ㉔庭野昭彦(松戸東高) ㉕加納正一(八千代松蔭高) ㉖小林隆(芝浦工大相高) ㉗稲沢太志(佐倉高) ㉘一般男子の部(八千) ㉙清田幸夫(光ヶ丘) 24分30秒 ㉚高梨幹夫(豊四季) ㉛増田武久(船戸) ㉜高野甲子雄(金栄) ㉝金子進(増尾) ㉞御領高司(旭町) ㉟壮年男子の部A(二千六百) ㊱相原英夫(十倉) 9分17秒 ㊲竹下弘武(増尾) ㊳松丸信治(宿連寺) ㊴大越義夫(逆井) ㊵永井三千夫(今谷上町) ㊶館形末男(東台本町) ㊷壮年男子の部B(五千三百) ㊸山田信義(戸張) 18分48秒 ㊹倉内盛夫(豊四季) ㊺堀切清治(十倉) ㊻山本宗雄(関場町) ㊼阿部紘(東中新宿) ㊽森昇(新富町) ㊾高校生以上の一般女子の部(二千六百) ㊿北村伊津美(東葛飾高) 9分48秒 ㊿大野美津子(柏南高) ㊿芝浦浩美(中原) ㊿根岸きょう子(豊住) ㊿小林富江(向原) ㊿白武綾子(大青田)

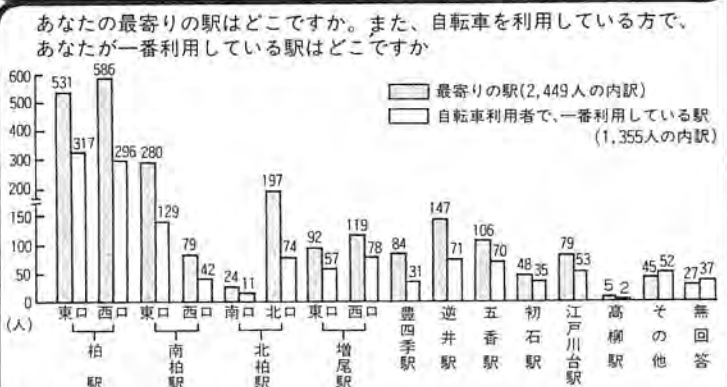
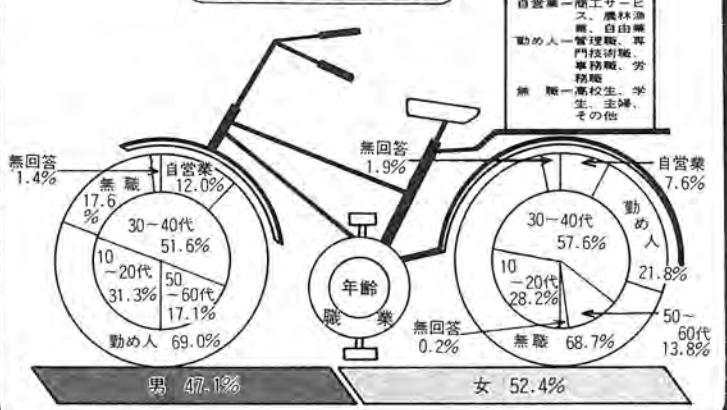


一世帯で2.5台を所有

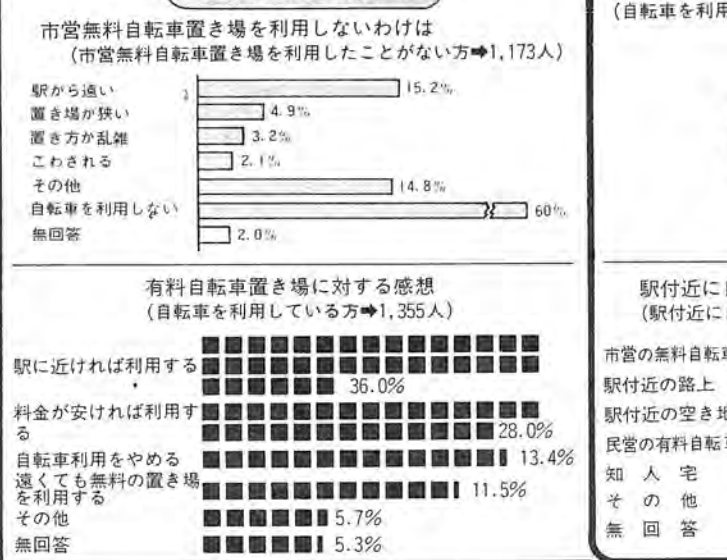
「駅周辺における自転車に関する調査」結果まとまる

昨年九月に実施した「自転車に対する意識調査」の結果がまとまりました。この調査は、市民の皆さんから、自転車利用の実態と鉄道駅周辺の自転車問題に対する意識を調査し、今後の自転車対策の基礎資料にするために行ったものです。調査項目は三十一項目で、市内全域の十五歳から六十五歳までの四千人の方を対象に行い、六一・二%、二千四百四十九人が回答して下さいました。市では、今後これらを十分検討、分析し、駅前の放置自転車をはじめとした自転車対策に反映させていきたいと考えています。今号では、この自転車に対する意識調査結果の概要を紹介いたします。

答えた人はこんな人



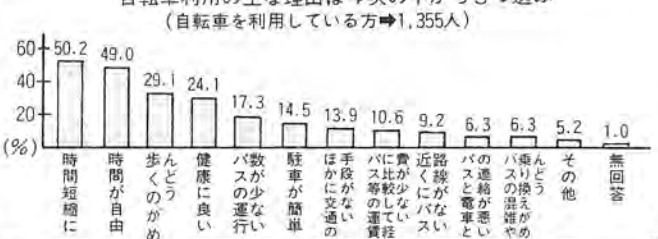
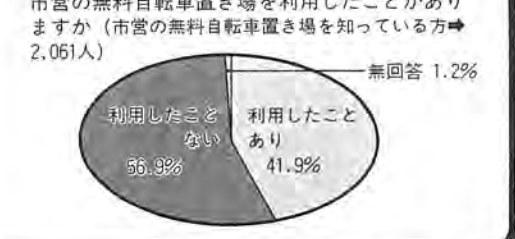
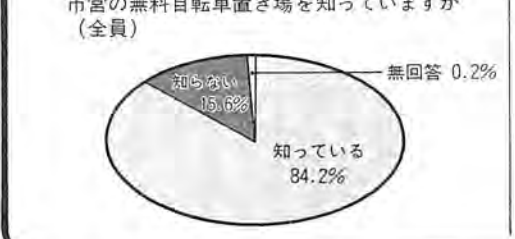
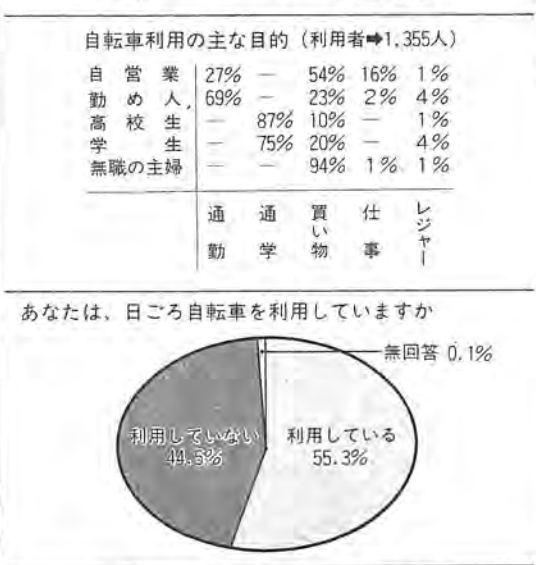
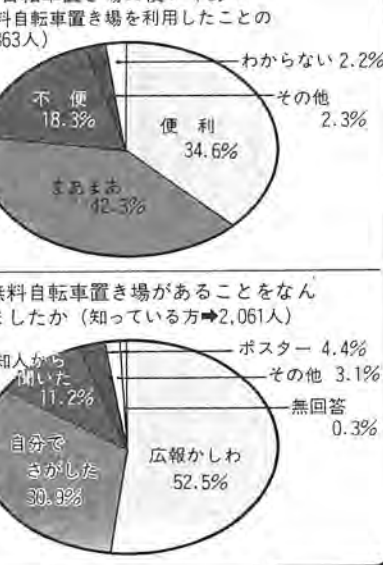
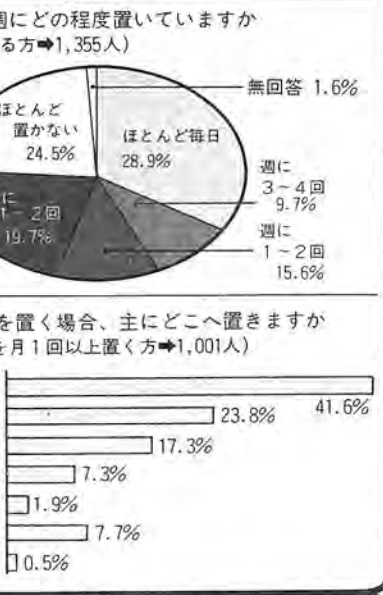
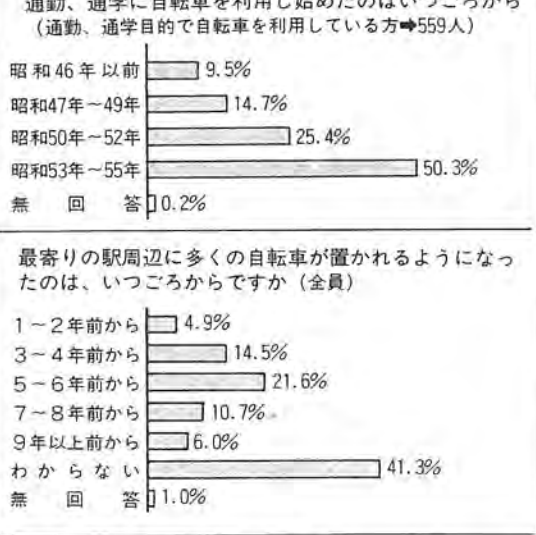
自転車駐車場問題



駅と自転車



自転車利用状況





調査結果の要約

市内の自転車は推定で十六万五千台

意識調査の結果をみると、柏市全体で現在自転車を持っている家庭は八八％、持っていない家庭は一二％で、一世帯あたりの平均所有台数は二・五台となっています。この結果から市全体の自転車所有台数を推定すると、約十六万五千台。所有率は家族の人数が増えるにつれて増える傾向があり、三人家族では八五％、四人家族以上では九〇％を超えています。

利用状況を見ると、日ごと二

人に一人強の五五％の人が自転車を利用していますが、高校生（七七％）、主婦（六七％）が高い利用率となっています。

その利用目的は、買い物（五一％）、通勤（二九％）、通学（二二％）で、理由として、「時間を短縮できる」、「歩くのがめんどくさい」、「健康によい」があげられています。

自転車を利用している人が多く利用する駅は、柏駅（四五％）が一番多く、次いで南柏駅（二三％）、増尾駅（二〇％）、北柏駅（一六％）、逆井駅、五香駅（各五％）、初石駅（三％）、

豊四季駅（二％）となっています。自宅から最寄り駅までの自転車での所要時間は、十二分（二九％）と四分六分（二五％）が最も多く、平均は九・二分となっています。

置き場は駅から二百メートルを限度

自転車を利用している人で、駅付近に自転車を駐車するときの置き場所では、「市営の無料自転車置き場」（四二％）が最も多く、続いて「駅付近の路上」（二四％）、「駅付近の空き地」（一七％）、「民営の有料自転車置き場」（七％）となっています。また、ほとんど毎日駅付近に駐車している人の二人に一

人は、市営の無料自転車置き場を利用しています。市営の無料自転車置き場を知っている人は、全回答者の八四％、知らない人は一六％でした。この置き場を知っている人のうち実際に利用したことがある人は四二％、利用したことがない人は五七％で、利用率をみると通勤、通学の人たちが高くなっています。

また、駅付近に有料の自転車置き場が設置された場合の利用層は、「駅に近ければ利用する」（三六％）、「料金が安ければ利用する」（二八％）で、非利用層の場合は、「自転車利用をやめる」（二三％）、「遠くても無料の置き場を利用する」（二二％）と答えています。有料自転車置き場が駅に近

ければ利用すると答えた人では、「百メートルを限度とする」が六八％、「二百メートルを限度とする」が二二％で、二百メートル以上も利用すると答えた人は一割未満でした。料金については、日額の場合五十円が最も多く、月額の場合は九百円と千二百円（平均九百七十七円）となっています。

駅周辺の集中に六八％が批判

駅周辺に集中している放置自転車の緩和对策については、「無料の市営自転車置き場を作る、増やす」が圧倒的に多く、毎日、自転車を利用している人たちもこの対策に集中しています。また、放置自転車の規制対策では、「要所に管理人を置いて

放置自転車による迷惑を受けた人は、全回答者の六八％ないしは三〇％。その迷惑の程度は、「非常に受けた」（五二％）、「かなり受けた」（二二％）、「多少受けた」（一五％）となっており、駅別にみると柏駅東口が一番多いと答えています。迷惑の内容は、「歩行者、自転車の通行時に邪魔」（四一％）、「人と車と自転車が混雑して危険」（三五％）となっています。

全員に回答を求めた放置自転車の緩和对策については、「無料の市営自転車置き場を作る、増やす」が圧倒的に多く、毎日、自転車を利用している人たちもこの対策に集中しています。また、放置自転車の規制対策では、「要所に管理人を置いて

指導、取り締まりを強化する」（三二％）、「不法駐車の自転車を強制撤去する」（二四％）、「自転車の駐車禁止等の規制を強化する」（二二％）が主なものとなっています。自転車対策については、市が行うべきと答えている人が四四％と二番多く、国・県の一七％、自転車利用者の一五％を大きく引き離しています。

過半数の人が、「自転車の利用者が安全運転を心がける」（五五％）と答え、自転車利用者自身の責任をあげています。道路交通法、および道路法により、指定された場所以外に自転車を置くことが禁止されていることを知っている人は六九％、知らない人は三〇％でした。

指導、取り締まりを強化する」（三二％）、「不法駐車の自転車を強制撤去する」（二四％）、「自転車の駐車禁止等の規制を強化する」（二二％）が主なものとなっています。自転車対策については、市が行うべきと答えている人が四四％と二番多く、国・県の一七％、自転車利用者の一五％を大きく引き離しています。

放置自転車対策と迷惑

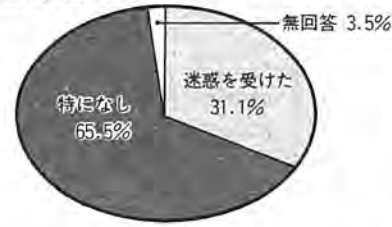
今まで自分の自転車のことで、迷惑を受けたことがありましたか（自転車を利用している方⇒1,355人）

＜自転車置き場外＞



混雑して取り出せなかった	28.9%
盗難にあった	16.7%
こわされた	14.8%
行方不明になったがでてきた	4.7%
よこされた	3.0%
その他	1.1%
特になし	46.5%
無回答	1.6%

＜自転車置き場以外＞



盗難にあった	15.1%
こわされた	10.6%
行方不明になったがでてきた	5.1%
市や警察の手でほかの場所に移動された	3.5%
よこされた	2.3%
その他	1.3%
特になし	65.5%
無回答	3.5%

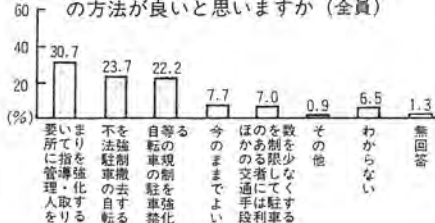
自転車置き場の新設や増設などには、多くの費用がかかりますが、このような対策はどが行うべきだと思いますか（全員）



自転車事故の減少対策は（全員⇒2つまで選ぶ）



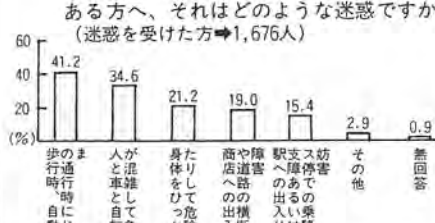
放置自転車問題の解消には、どんな規制の方法が良いと思いますか（全員）



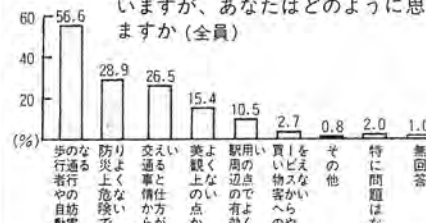
放置自転車の緩和と解消をするためには、どのような対策が必要だと思いますか（全員）



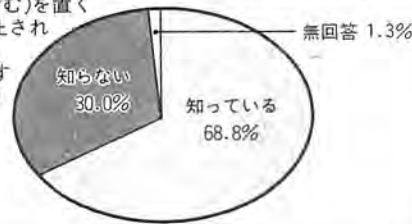
放置自転車によって迷惑を受けたことがある方へ、それはどのような迷惑ですか（迷惑を受けた方⇒1,676人）



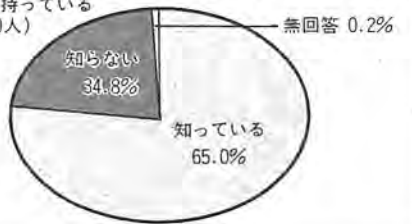
自転車が駅周辺に集中して置かれています。あなたはどのように思いますか（全員）



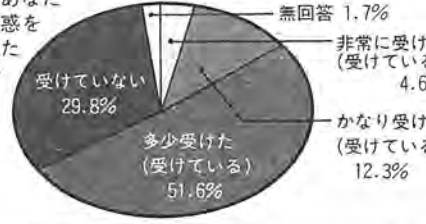
道路交通法及び道路法では、指定場所以外に車両（自転車含む）を置くことは禁止されています。ご存知ですか（全員）



自転車の防犯登録制があるのを知っていますか（自転車を持っている方⇒2,160人）



放置自転車によりあなた自身、何らかの迷惑を受けましたか、または受けていますか（全員）



自転車には住所、氏名などを記入してありますか（自転車を持っている方⇒2,160人）



防犯登録制の手続きをしていますか（防犯登録を知っている方⇒1,304人）



調査の方法

○期 間 昭和55年9月18日から同9月30日
○調査地域 市内全域
○対象者 市内に居住する15歳から65歳までの男女4,000人
○抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出による2,449人
○調査方法 郵送法
○その他 表やグラフ等の数字は、四捨五入の関係や、「その他」「無回答」数を省略している箇所もあり100%にならない場合もあります。また、設問によっては一つの回答を求めたのに対し、2つ以上の複数回答があったため、その合計は100%を超えているものもあります

自転車に対する理解度

おしらせ

保健衛生

幼児の虫歯予防教室 はがきて申し込みを

市では、幼児を虫歯から守るために、歯科医師による検診と、スライドを使った「虫歯予防教室」を毎月行っています。該講習には申し込み順で、実施する月に個人通知します。

○ところ 柏市保健センター
○対象 一歳八カ月から就学前までの幼児とその母親(すでに虫歯予防教室を受けた方と、一歳六カ月児健康診査を受けた方は、申し込み必要はありません)。
○申し込み はがきてに①

催し

新成人の門出を祝福 15日文化会館で成人式

一月十五日は「成人の日」。市では新成人の門出を祝う成人式を行います。今年、作家の早乙女勝元氏をゲストに迎え、「青年の生き方」と題する講演も行われます。対象者は案内状を郵送してありますが、届かない場合は直接会場へ。

○とき 一月十五日(木)正午から受け付け ○ところ 柏市民文化会館 ○対象 昭和三十三年四月二日昭和三十六年

でんわ

柏市役所	67-1111
土出張所	72-4802
雷勢出張所	31-6622
光ヶ丘出張所	72-2702
田中近隣センター (出張所・公民館・図書館)	33-1000
豊四季近隣センター (出張所・公民館)	44-1000
南部近隣センター (出張所・公民館・図書館)	73-1000
西原近隣センター (出張所・公民館・図書館)	流山局 54-2000
永楽台近隣センター (公民館・図書館・児童館)	63-1201
布施近隣センター (公民館・図書館・老人憩いの家)	32-3100
千代田近隣センター	63-7889
旭町近隣センター	44-8900
水道部	66-2191
消防本部	33-0119
火災の案内(テプ)	33-1212
第一清掃(し尿)	45-7045
第二清掃(ゴミ)	31-7900
市民サービス事務所	31-6436
柏市保健センター	64-3333
柏市教育委員会	84-2222
柏市公民文化会館	67-2224
柏市民文化会館	64-9141
柏市民体育館	64-9573
柏市立図書館本館	64-5346
豊四季台分館	45-9546
やまびこでんわ柏と (ヤングの悩みごと案内)	66-8181
行政・ふるさと	63-8181

住所、電話番号 ②幼児の氏名と年齢(月齢も) ③母親の氏名を明記し、〒 柏市柏下七三 柏市保健センター内健康管理課へ。④問い合わせ 健康管理課(番64-1333)へ。

15日に三混予防接種
対象幼児は一期三回目
三種混合予防接種が行われます。今回の講習者は、昭和五十二年一月十四日から昭和五十三年四月一日までに生まれた幼児で、昨年十月から十二月にかけて第一期二回目までの接種を終了した方。

○とき 一月十三日(火)午後一時半～同二時半 ○ところ 柏市保健センター ○持参するもの ①前回の接種済証と必要のもの ②前回の接種済証と必要のもの ③前回の接種済証と必要のもの

柏保健所で、子供さんの整形外科的な相談を受ける「療育相談」に参加。○申し込み 一月二十日(火)までにはがきてに①参加費 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤小・中学生は学年と学校名を書いて、〒 柏市柏五丁目九番七号 柏市教育委員会社会教育課内 柏ユネスコ協会事務局(番63-1445)へ。○問い合わせ 電話(番63-1445)へ。

市民かるた大会開く
25日に柏市民会館で
午前九時半～午後五時 ○ところ 柏市民会館 ○参加資格 市内在住、在勤、在学の方 ○種目 ①親類の部(初心者向き) ②小・中学生の部(初級者向き) ③小・中学生の部(一般部) ④一般部(上級部) ⑤一般部(下級部) ⑥一般部(ナメント方式) ⑦一般部(上級部) ⑧一般部(下級部) ⑨一般部(ナメント方式) ⑩一般部(上級部) ⑪一般部(下級部) ⑫一般部(ナメント方式) ⑬一般部(上級部) ⑭一般部(下級部) ⑮一般部(ナメント方式) ⑯一般部(上級部) ⑰一般部(下級部) ⑱一般部(ナメント方式) ⑲一般部(上級部) ⑳一般部(下級部) ㉑一般部(ナメント方式) ㉒一般部(上級部) ㉓一般部(下級部) ㉔一般部(ナメント方式) ㉕一般部(上級部) ㉖一般部(下級部) ㉗一般部(ナメント方式) ㉘一般部(上級部) ㉙一般部(下級部) ㉚一般部(ナメント方式) ㉛一般部(上級部) ㉜一般部(下級部) ㉝一般部(ナメント方式) ㉞一般部(上級部) ㉟一般部(下級部) ㊱一般部(ナメント方式) ㊲一般部(上級部) ㊳一般部(下級部) ㊴一般部(ナメント方式) ㊵一般部(上級部) ㊶一般部(下級部) ㊷一般部(ナメント方式) ㊸一般部(上級部) ㊹一般部(下級部) ㊺一般部(ナメント方式) ㊻一般部(上級部) ㊼一般部(下級部) ㊽一般部(ナメント方式) ㊾一般部(上級部) ㊿一般部(下級部)

○とき 一月二十五日(日)午前九時半～午後五時 ○ところ 柏市民会館 ○参加資格 市内在住、在勤、在学の方 ○種目 ①親類の部(初心者向き) ②小・中学生の部(初級者向き) ③小・中学生の部(一般部) ④一般部(上級部) ⑤一般部(下級部) ⑥一般部(ナメント方式) ⑦一般部(上級部) ⑧一般部(下級部) ⑨一般部(ナメント方式) ⑩一般部(上級部) ⑪一般部(下級部) ⑫一般部(ナメント方式) ⑬一般部(上級部) ⑭一般部(下級部) ⑮一般部(ナメント方式) ⑯一般部(上級部) ⑰一般部(下級部) ⑱一般部(ナメント方式) ⑲一般部(上級部) ⑳一般部(下級部) ㉑一般部(ナメント方式) ㉒一般部(上級部) ㉓一般部(下級部) ㉔一般部(ナメント方式) ㉕一般部(上級部) ㉖一般部(下級部) ㉗一般部(ナメント方式) ㉘一般部(上級部) ㉙一般部(下級部) ㉚一般部(ナメント方式) ㉛一般部(上級部) ㉜一般部(下級部) ㉝一般部(ナメント方式) ㉞一般部(上級部) ㉟一般部(下級部) ㊱一般部(ナメント方式) ㊲一般部(上級部) ㊳一般部(下級部) ㊴一般部(ナメント方式) ㊵一般部(上級部) ㊶一般部(下級部) ㊷一般部(ナメント方式) ㊸一般部(上級部) ㊹一般部(下級部) ㊺一般部(ナメント方式) ㊻一般部(上級部) ㊼一般部(下級部) ㊽一般部(ナメント方式) ㊾一般部(上級部) ㊿一般部(下級部)

「子どもにはほほえみやさうらぎ」をテーマに、第二回の母親体験発表会が開かれます。○とき 一月二十五日(日)午前九時半～午後五時 ○ところ 柏市幼児教育研究所

「子どもにはほほえみやさうらぎ」をテーマに、第二回の母親体験発表会が開かれます。○とき 一月二十五日(日)午前九時半～午後五時 ○ところ 柏市幼児教育研究所

案内相談

市営住宅の入居者募集 申し込みは24日までに

市では、三月末に完成が予定されている、逆井の市営住宅(鉄筋三階建て)と、空き家住宅(入居を希望する方を募集します。なお、特別な事情のある単身の方も入居できる)について、○定員 先着七十人 ○申し込み 一月十二日から同十七日まで(同研究所へ電話か直接、同研究所の研修会に年間申し込みをした方も、あらためて申し込みを。なお、お申し込みの受理は、一階以下に限り、同研究所(番45-1211)へ。

市では、三月末に完成が予定されている、逆井の市営住宅(鉄筋三階建て)と、空き家住宅(入居を希望する方を募集します。なお、特別な事情のある単身の方も入居できる)について、○定員 先着七十人 ○申し込み 一月十二日から同十七日まで(同研究所へ電話か直接、同研究所の研修会に年間申し込みをした方も、あらためて申し込みを。なお、お申し込みの受理は、一階以下に限り、同研究所(番45-1211)へ。

ふるさと講座作品展
15日から市民サロンで

ふるさと講座作品展
15日から市民サロンで

一月十五日から同十八日まで
ロスタウン八階の柏市民サロンで、ふるさと講座作品展が開かれます。○受付 竹やわら細工を体験できるコーナーも設けられています。ぜひおいで下さい。○問い合わせ 社会教育課(番63-1445)へ。

一月十五日から同十八日まで
ロスタウン八階の柏市民サロンで、ふるさと講座作品展が開かれます。○受付 竹やわら細工を体験できるコーナーも設けられています。ぜひおいで下さい。○問い合わせ 社会教育課(番63-1445)へ。

田中公民館で茶道科
申し込みは14日に

田中公民館で茶道科
申し込みは14日に

田中公民館で成人学校茶道科
申し込みは14日に

田中公民館で成人学校茶道科
申し込みは14日に

田中公民館で茶道科
申し込みは14日に

田中公民館で茶道科
申し込みは14日に

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで

市街化区域A・B農地
税減額申告は31日まで